

DX推進企画書

株式会社上原園
2022年9月制定

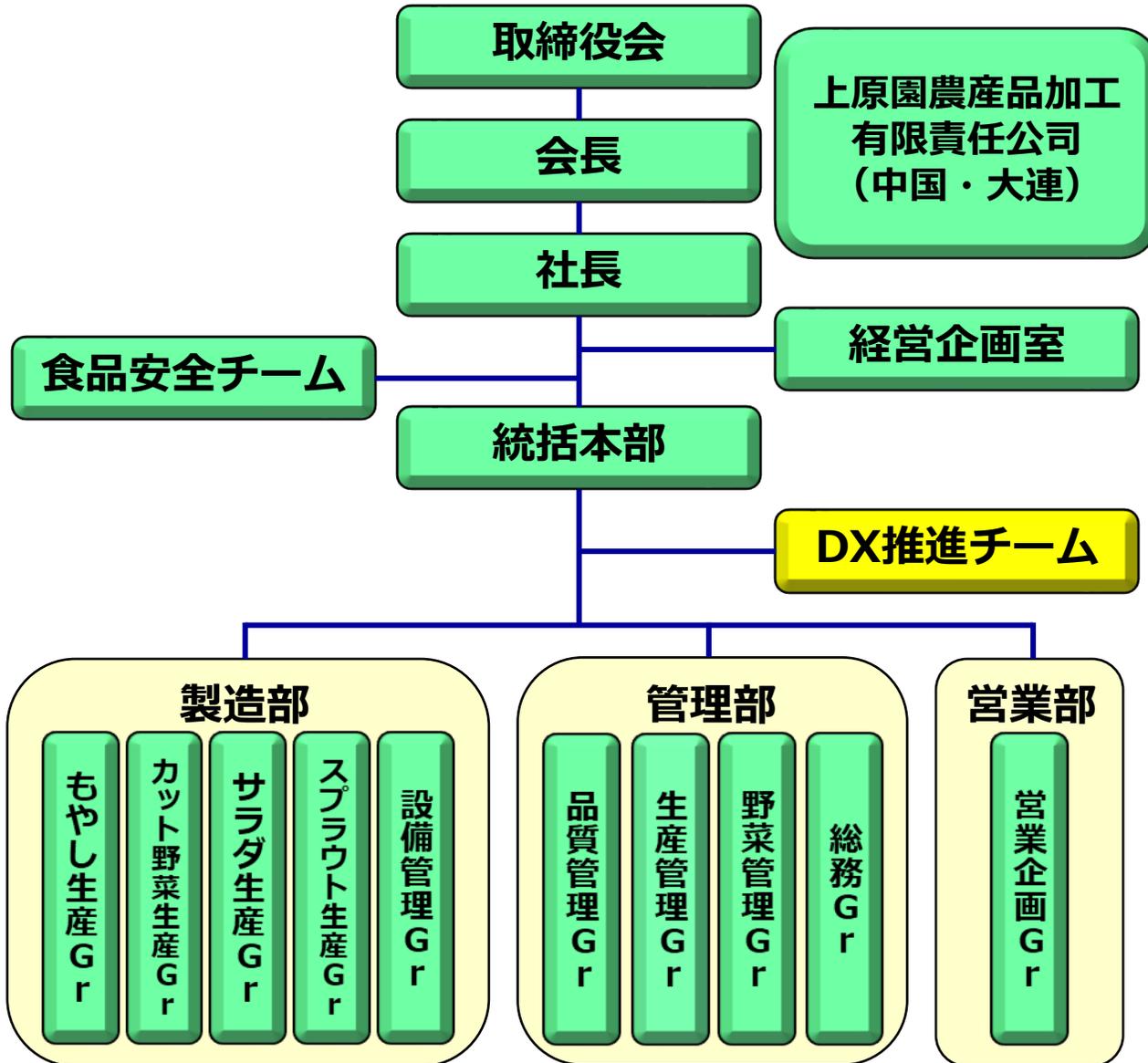
目次

1. DX推進ビジョン
2. DX化推進体制
3. DX推進シナリオ（将来的なDX戦略）
4. 現在の取り組み 将来の戦略
5. セキュリティ対策
6. おわりに

1.DX推進ビジョン

私たちは「野菜を通じお客様の課題を解決し、感動を提供するブランド企業への進化」を企業ビジョンとし、DX推進を強化することで、時代の変化に対応できる体制および会社全体での改善・変革意識を持った風土づくりを行い、より健康な食生活を提供し続けられる企業を目指します。

2.DX推進体制



推進部隊は
DX推進チームとする

DXリテラシー教育の実施
(各部・各GrへのDX浸透を目指す)

全社での
DX推進体制を整える

3.DX推進シナリオ（将来的なDX戦略）

短期

2022

- 製造現場の実績をデータ化し、生産スケジュールや改善活動等に活用
- VBA、RPA(UiPath)の使用によるPC作業の効率化
- ペーパーレス推進（帳票類のデジタル化）

中期

2023~2025

- 基幹システムの刷新（販売管理システム、生産管理システム）
- ラベル発行自動化推進（製造現場主体の発行システム）
- アプリ開発ソフトの活用（Google app sheetなど）
- SDGsへの取組との連携

長期

2025~2030

- 製造現場の自動化推進（協働ロボットの導入）
- AI技術の導入による高度な業務自動化推進
- RPA導入支援サービスの開始

4.現在の取り組み/将来の戦略（短期）

1. RPA（UiPath）導入（2021/3導入済み）

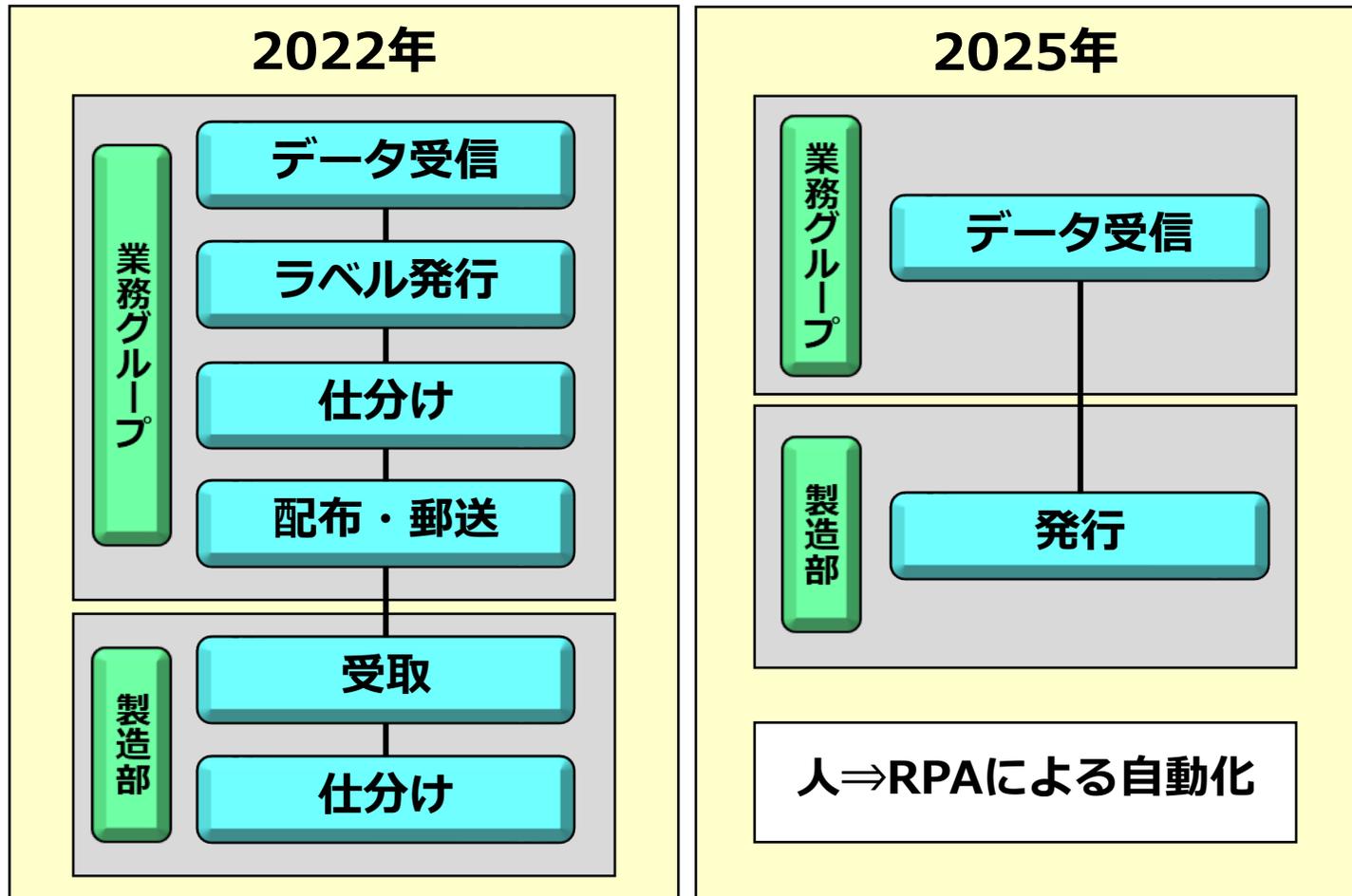
- ・ 業務グループ 販売データ受注自動化
- ・ 総務グループ タイムプロ打刻データ処理自動化
- ・ 生産管理グループ 生産指示書発行自動化

2. 生産実績データ化による総合品質管理

- ・ 制御システムとRPAの連携による集計自動化
- ・ 生産管理表示盤による生産スピード定量化
- ・ 上記ITシステムを活用し、製造現場の改善活動へ展開

4.現在の取り組み/将来の戦略（中期）

ラベル発行自動化推進（製造現場主体の発行システム）



ラベル発行システムを導入し
商品箱ラベルの発行を
製造部主体で行う

- ・発行漏れ防止（品質向上）
- ・作業工数削減（コストダウン）
- ・ラベル枚数削減（環境配慮）

4.現在の取り組み/将来の戦略（中期）

基幹システムの刷新（販売管理/生産管理システム）

社内のレガシーシステムを刷新し、
変化への対応を継続的に行える体制構築を目指す。

- ・ ITシステム全体の「見える化」
- ・ DXの更なる加速化
- ・ 誰でも使えるシステム構築
- ・ 専門知識不要なITツールの選定
- ・ 組織再編⇒分散された業務の統合化

4.現在の取り組み/将来の戦略（長期）

製造現場の自動化推進（協働ロボットの導入）



現在の機械ラインに加え
手詰めラインや手作業への
協働ロボット導入を推進



作業負荷の軽減
従業員の業務最適化
商品の品質改善

4.現在の取り組み/将来の戦略

各フェーズにおける具体的な指標

短期

RPA導入によるPC手動業務 **30%** 削減
紙使用量 **50%** 削減

中期

商品受注デジタル化による手入力業務 **80%** 削減
現場でのラベル発行率 **90%** 実現

長期

製造現場の自動化ライン導入率 **70%** 実現

5.セキュリティ対策

弊社はより一層情報セキュリティ対策に取り組むため、**SECURITY ACTION(二つ星)**を宣言し、**情報セキュリティの向上に取り組んで参ります。**

弊社の事業を安全かつ継続的に行うため、**「情報セキュリティ基本方針」**を定め、**これを徹底いたします。**



セキュリティ対策自己宣言

おわりに

株式会社上原園では、

「生きていく上でもっとも大切な食を通じて、

一人でも多くの人たちに感謝と誠意をもって、

より健康な食生活を提供する企業になる」

ことを使命とし、その使命を果たすべく、

企業成長戦略の一環としてDX推進を継続的に実施致します。

より良い品質、より良いサービスを提供し続けられるよう、

誠心、誠意を持って行動して参りますので、

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

株式会社上原園

代表取締役社長 岡部 一法